

平成 2 4 年

亀山市教育委員会 1 0 月定例会会議録

亀山市教育委員会10月定例会会議録

1. 日 時

平成24年10月24日（水）午前9時30分開会

2. 場 所

亀山市役所 本庁舎3階 理事者控室

3. 出席委員

1番委員	村 山 竹 則
2番委員	宮 崎 洋 子
3番委員	伊 藤 ふじ子
4番委員	肥 田 岩 男
5番委員	岡 田 香

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育次長	上 田 寿 男
総括(兼)教育総務室長（以下総務室長という。）	上 田 稔
学校教育室長（以下学校室長という。）	服 部 裕
教育研究室長（以下研究室長という。）	若 林 喜美代
生涯学習室長（以下生涯室長という。）	伊 藤 早 苗
図書館長	鳴 川 隆 久
歴史博物館長（以下歴博館長という。）	亀 山 隆
まちなみ文化財室長（以下まち室長という。）	鳴 村 明 彦
教育総務室主幹（書記）	村 山 成 俊

6. 会議録署名者指名

1 番委員（村山竹則委員）

7. 前回会議録の承認（9月定例会）

一部訂正の上承認

8. 教育長報告

教育長 教育長報告の主なものを「平成24年10月定例会教育長報告」に基づき報告。

- ・ 9月29日、10月1日の小学校運動会、10月6日幼稚園の運動会では、委員の皆さまにご出席いただき御礼申し上げます。その中である中学校長が、小学校の運動会で児童の走り方に気になる点があるとのことであった。体力向上の課題と考えている。
- ・ 9月30日は台風の接近により災害対策本部が設置され、正午に召集を受けた。4ヶ所の避難所を開設し、避難所の対応に追われた。食料を持参しない避難者が多く、啓発が必要である。
- ・ 10月2日に横浜市の子ども青少年局青少年育成課を、3日には東京都渋谷区の幼保一元化施設「柿の実園」を教育研究室長、生涯学習室長と共に視察した。横浜市では青少年自立支援について先進的な取組をしている。横浜市におけるこども若者施策、横浜若者ステーションでの民間ボランティアと市の協力体制を視察した。「よこはま型キャリアラダー」といって就労支援がステップアップできる仕組みとなっていた。横浜型若者自立塾で短期型・長期型の合宿を実施していた。精神疾患の保護者をもつ子どもに対して寄り添い型支援事業を実施しており非常に関心をもった。東京都渋谷区の「柿の実園」では1～3歳の保育は、民間に委託し、幼稚園（4歳、5歳）に保育機能を備え、デリバリー給食方式を取っていた。カリキュラムが作成されており、いただいてきたので今後の参考としたい。千駄ヶ谷にも幼保一元化施設ができたが、こちらは保育園に幼稚園機能を加えたものであるとのことである。

- ・ 10月6日、平成24年度「ふるさと先生」養成塾閉校式に出席し修了証を授与した。
- ・ 10月7日、教育懇談会、10月17日教育研究会指定校発表会へ委員にご出席いただき御礼申し上げます。
- ・ 10月11日、亀山東幼稚園で外部講師による体力向上遊びを視察した。年長は鉄棒運動（逆上がり）等、年少はマットを使った前転等、子どもの年齢にあった有意義な内容でプロセス等が参考になった。回数を増やし継続することで運動能力の向上を期待したい。今年度各幼稚園で実施している。
- ・ 10月12日、野登小学校を皮切りに教育長訪問が始まり、学力の向上、職員の労働安全衛生で勤務状況等の示唆をした。
- ・ 10月20日、亀山童謡フェスタに出席した。幼稚園児が毎年出演している。また、加太小学校コミュニティスクールのつむぎコーラス（地域の方と小学生）、神辺小学校放課後子ども教室のハンドベルの演奏もあった。施策の流れのなかで発展的な運用ができた。

委員長 教育長報告について、質問を求める。

宮崎委員 10月17日亀山市教育研究会指定校発表会で関小学校へ出席したが、1クラスも電子黒板（以下ICT）を使用していなかったのはなぜか。

教育長 神辺小学校に出席した。両校とも国語の書き込みをする内容であったのでICT使用は、把握してなかったが、教育長訪問では学習内容によって使用されている。日常的には、よく使用されている。

宮崎委員 年間の使用率等についてICTの評価はしているのか。

研究室長 毎年度調査を実施している。活用率にばらつきがあるのは事実である。国語科は、ICTを活用しにくい科目であるが、さし絵を写すなど活用方法はある。活用率の低い学校に働きかける。

宮崎委員 小学校運動会で中学校長より指摘のあった児童の走り方については、人間の基本的な動作であるので学校で教えなければならない。ランニングのホームを身につけさせてほしい。体力・学力を同時並行で教育してほしい。

教育長 運動会での中学校長の指摘の内容は、乳幼児期に体をしっかり動かす基礎的な体の動かし方であり、研究室長より詳細を説明させる。

- 研究室長 文部科学省の調査から、幼児期の体の使い方が子どもの体力に影響しており、4歳から5歳でおとなの体の動きの基礎が8割でき、6歳から7歳で成熟するとされている。子どもの体力を作るのに一番効果がある時期は、幼稚園の年長組から小学校1年生にかけてであるが、テレビやゲーム等をして体を動かさないことはよくない。文部科学省の調査によると、体力向上に取り組む園と取り組んでない園との差が、小学校以降の体力に影響されている。そのため、各幼稚園及び小学校において体力向上運動遊びの外部講師を招いて今年度より実施している。今後は幼稚園と同様に保育園も体力向上運動遊びを広げ実施したい。
- 村山委員 神辺小学校の教育研究会指定校発表会で、雨天にグラウンドへ車を駐車させるのか、国土交通省所管の高架下を借りるよう指導されたいと地域の方より苦情があった。
- 教育長 その件については、学校へ同様のことを伝えている。
(他に質問もなく、教育長報告を終わる)

9. 議事

なし

10. 協議事項

なし

11. 報告事項

- 委員長 報告事項1「平成25年度亀山市立幼稚園入園児の応募状況について」を総務室長より、説明を求める。
- 総務室長 (応募状況について資料にもとづき説明)
- 委員長 報告事項1について、意見を求める。
- 委員長 募集人数が3歳から4歳で10名増となっているが、関は24名募集、11名在園しているということか。

- 総務室長 11名在園しているということである。
- 委員長 亀山幼稚園5歳児は、16名募集に対し、応募者0となっているが。
- 教育次長 全国の各幼稚園の定員割れはどんどん進んでいる。津市や鈴鹿市でも幼稚園の統合やこども園への移行が進んでいる。保護者の保育園のニーズが高まってきている。特に関幼稚園は在園児が少ない。延長保育を午後4時まで実施していてもこのような状態なので、幼保一体化を考えていかななくてはならない。この傾向は強くなっていくと考える。
(他に意見もなく、報告事項1について、報告を終わる。)
- 委員長 工事及び委託事業の発注状況について、説明を求める。
総務室長 (工事及び委託事業の発注状況を報告する。)
委員長 工事及び委託事業の発注状況について、意見を求める。
(特に意見もなく、工事及び委託事業の発注状況について、報告を終わる。)
- 委員長 教育委員会行事報告及び予定表について、説明を求める。
(総務室長、学校室長、研究室長、生涯室長、図書館長、まち室長、歴博館長より教育委員会行事報告及び予定表について報告する。)
- 委員長 教育委員会行事報告及び予定表について、意見を求める。
岡田委員 今年度のふるさと先生養成塾の状況について説明を求める。
研究室長 今年度は、15名の受講者があり、受講生のアンケートも非常に好評であり、再度受講を希望する者もあった。受講生には前向きに参加していただき、実践に活かしている。課題としては、採用2、3年目の正規の職員の研修が必要であると考えている。
(その他、特に意見もなく、教育委員会行事報告及び予定表の報告を終わる。)

